

# Library News



京教図書館 News

2010  
1

## 今月のトピック

- 私のすすめるこの1冊  
今月は、社会科学科・香川先生に『バンクーバーはなぜ世界一住みやすい都市なのか』(香川貴志著)をご紹介します。
- 「うた」と「おはなし」の会の報告
- 論のくちび理のむすび(京都教育大学の紀要論文をご紹介します)  
今月は、産業技術科 安東先生の論文です。

## 新型インフルエンザ感染防止にご協力を!

図書館の入口に消毒用エタノールを設置していますので、入館の際には必ず手を消毒していただくようご協力お願いいたします。

本年もよろしくお願いいたします



## <図書館開館スケジュール>

平日は9:00~21:00、土曜は9:00~17:00  
※毎月第1水曜日は館内整理のため休館です

1

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
										1 祝	2	休館	休館
3	4	5	6 整	7	8	9	休館	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00		
10	11 祝	12	13	14	15	16	休館	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00		
17	18	19	20	21	22	23	休館	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00		
24	25	26	27	28	29	30	休館	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00		
31							休館						

※1月15日(金)・16日(土)は  
センター試験のため休館です

2

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
		1	2	3	4	5	6	休館	休館	休館			
7	8	9	10	11 祝	12	13	休館	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00		
14	15	16	17	18	19	20	休館	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00		
21	22	23	24	25	26	27	休館	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00		
28							休館						

※2月4日(木)~6日(土)は  
図書館のシステム更新のため休館です  
※2月25日(木)・26日(金)は  
前期入試のため休館です

## 私のすすめるこの1冊

香川貴志(社会科学科 教授)

### 香川貴志著 『バンクーバーはなぜ世界一住みやすい都市なのか』

のっけから自著をすすめる大変な恥かしさを、2010年冬季オリンピック開催に免じて許していただきたい。この本は、私が1995～1996年に在外研究員として生活し、その後も幾度となく現地調査で訪問を重ねた、カナダ西海岸の麗都バンクーバーについてのノンフィクションである。

バンクーバーが2003年夏、僅差でオリンピック開催都市に選ばれたとき、私は「大変なことになった」と思う一方、「選ばれて当然ではないか」という気にもなった。それは、この都市が余りにも素晴らしい自然環境・生活環境・地域環境に恵まれているからである。ここに列挙した三つの環境は、奇しくも今は学生募集を停止した本学の環境学コースの専攻名称であるが、バンクーバーはその全ての水準を極めて高く調和させた都市である。

ところで学者の書いた本の多くは、専門分野外の者にとっては全く面白くないか、価値を見出せない代物である。直近の本学では、学生諸君や教職員が不便を強いられた耐震補強工事をめぐる記憶が生々しい。研究室の全ての書物を仮設コンテナに収納しきれず、私は私物図書を処分するために古書店を呼んだ。それが百万円を超える原価であるにも関わらず、驚くほどの安値を付けられて私は愕然とした。一度の宴会で使ってしまう程度の額である。「文庫やコミック、ゲームソフトの方が高く取れるんです」とアッサリ云われ、「そりゃあ読者や利用者の数からして当然だろうなあ」と妙に感心し

たものだ。

それゆえに私は、多くの人が楽しみながら専門知識にも触れられる本を書きたかった。学術書ではないので、編集者とも相談しながら読みやすい本を心がけた。それは私にとって、大学院時代に受けた論文指導を思い出させた。独りよがりの学術論文を書くばかりでは世間から遊離してしまうことも学んだ。他方、昨今の本屋で書棚を席捲するhow to本や物知り本にはしたくなかった。良い本が売れているのではなく、意識的に売れる本が率先して書かれ、それらが平積みされているからだ。地理学の内容をhow to本や物知り本にしてしまうと、すぐに価値がなくなる旅行ガイド本に似ていく。悩んだ私は、やがて「そうだ、専門的な内容も噛み砕いて、色褪せない都市ガイドを作ろう。それで地理学や地理のファンが増えてくれれば、これほど嬉しいことはないじゃないか」と思うようになった。

こうして完成した本は、私にとって異国の故郷となったバンクーバーへの感謝の証でもある。今でも時おり夢にまで出てくる美しい街バンクーバー。この本の資料収集のため、バンクーバーで生まれた息子を助手として現地に私費で帯同した折、帰国前日の海岸で、彼は自分の故郷を肌で感じながらこう呟いた。「また来たい・・・」

これほど素晴らしい街が地球上にあることを、私は少しでも多くの人に知ってほしい。

叢書 地球発見 14『バンクーバーはなぜ世界一住みやすい都市なのか』  
香川貴志著 ナカニシヤ出版 ISBN:978-4-7795-0014-5 2010年1月発売予定



## ◆ 春季休業に伴う長期貸出について ◆

区分	学部学生	大学院生・教職員
実施期間	1月21日(木)～3月29日(月)	1月7日(木)～3月15日(月)
貸出冊数	5冊	10冊
返却期限日	4月12日(月)	

- ・ 上記の実施期間に貸出した図書は、返却期限日が4月12日(月)となります。
- ・ 長期貸出図書については、返却期限日の延長はできません。
- ・ 視聴覚資料は長期貸出の対象外です。
- ・ 一般利用者の方は長期貸出の対象外です。
- ・ 卒業・終了予定の人の返却期限日は2010年3月1日(月)となりますのでご注意ください。



### 論のくちび 理のむすび

安東 茂樹 (産業技術科 教授)

#### 「技術科教育の教授過程におけるフローな状態の存在」

子どもが「ものづくり」で必死に頑張っている姿や夢中になっている姿を見かけますが、それは純粹で頼もしく素晴らしいものです。そこで、技術科教育の「ものづくりで夢中になるとは」どういうことかを協議や検討し、「学んでいる中で、自分の意志や能力が適合しているときに生じる没頭する感覚」と位置づけました。そして、子どもが夢中になる授業とは、どこで、どのように、何によって、なぜ起こるのかなど、その状態を明らかにしたいと考えました。

まず、子どもたちが授業で夢中になる最適体験、すなわち「フロー(flow)」とはどのような状態で、その状態に進むには「行為と意識の融合」、「限定された刺激領域への集中」、「自我の喪失」、「明確なフィードバック」、「自己目的」の5つの条件が必要と考えました。そして、どのような授業を行えば、子どもたちが夢中になるフローな状態が育まれるかについて、子どもの実態と実際の授業から明らかにしたいと考え、アンケート調査とビデオ撮影による授業観察で詳細に分析しました。

調査と分析の結果、技術科教育の授業において、作業の過程やその結果からフローな状態の生じていることが分かりました。そのためには、「導入時の説明と講義が必要」で、その後「十分な作業の時間を設定すること」がフローな状態の形成に重要と示唆されました。すなわち、学習に取り組むきっかけの説明やある程度以上の知識を習得させる講義と、十分な実践的体験的な学習活動の時間が必要であり、そのことから始めて、作業中のフローな状態の形成の存在が明らかになりました。

したがって、子どもに集中させたい部分や、より自発的な行動をさせたいと考える部分に、本研究で得たフローの考え方を当てはめ、あらゆる教授過程において子ども主体の学習活動を重視することから、求める子どもの姿の展望の開かれることが推察されました。今後、いかに実際の授業で、意図的にフローな状態を形成し組み込んでいくかが大きな課題と思われれます。

全文は第115号(平成21年9月)に掲載されています。

京都教育大学リポジトリ「クエリ (KUERE) の森」 <http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> でもご覧いただけます。

- 蔵書検索 OPAC はこちらから  
<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/>
- 京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから  
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

京教図書館 News No. 111 (2010年1月号)  
編集発行：京都教育大学附属図書館  
発行日：平成22年1月5日  
内容に関するお問い合わせ先：  
附属図書館 (内線8179)